日頃から災害への備えをしましょう

防災

今金町では、昨年８月16日に24時間の雨量が226mmを記録するなど、気候変化の影響もあり大雨となる事が多くなっています。
防災・減災は、まずは自分の命を守ることが基本です。大雨をはじめとする自然災害がおきたとき、どのように行動するか確認しておきましょう。

災害危険箇所や避難場所を確認しましょう

今金町の災害危険箇所

今金町には『後志利別川の洪水浸水想定区域』と『土砂災害危険箇所』が指定されております。
洪水による最大浸水想定区域は、市街地の場合、国道より南側がほぼ浸水想定区域になっており、また、町内で地すべりやがけ崩れのおそれのある箇所は58箇所あります。

避難場所、避難方法

町内に避難所は24箇所あります。
災害の種類や状況によって避難場所が変更になる場合がありますので、町の避難指示に従って避難するほか、安全な知人・友人宅へ避難することも、重要な避難行動の一つです。



▲災害危険箇所や避難所は『今金町防災ガイドマップ』に掲載しています。町ホームページでも確認することができます。

大雨災害に備え河川の氾濫・内水氾濫対策も行なわれています



▲令和４年８月16日の大雨時の後志利別川



▲市街地近くの後志利別川沿岸の樹木は大雨時の水位上昇の原因などの対策のため、一部で伐採を行いました。



▲新たに排水ポンプを購入し、内水氾濫を防ぐための対策を行っています。

戸別受信機の申請方法と電波を受信しやすくする使い方

～設置状態を確認して災害に備えましょう～

①戸別受信機の申請方法

戸別受信機を設置するには役場に申請する必要があります。設置申請は役場くらし安心課にて**随時受け付け**していますので、印鑑をご持参のうえご来庁ください。

②電波を受信しやすくするポイント

○アンテナは全て伸ばしていますか？
○電化製品から離して設置していますか？
○窓の近くに設置していますか？
※窓の近くに置いても受信しない場合は、反対側の窓の近くに置いてみてください。1～2mの違いで受信に変化があります。

③受信しにくい場合の特徴

～ 調査結果から分かる特徴 ～

○住宅が山かげになっていると、受信しにくい場合があります。
○建物（外壁）の材質上、受信しにくい場合があります。
※電波は光台地区から発信しています。その方角の窓の近くに設置すると受信できる場合もあります。

④改善しない場合の対応

～ 調査、設置費用は無料です ～

上記のポイントを試しても改善しない場合は、**役場くらし安心課にご連絡ください。**
後日、**委託業者が、ご自宅で受信調査をいたします。**必要に応じて「ダイポールアンテナ（※屋外に設置するアンテナ）」を設置し受信できる状態にいたします。

※戸別受信機に入っている電池は自然放電等で消耗していきます。電池は、年に1回程度の交換が推奨されています。（電源ランプが緑色と赤色に交互に点滅している場合は、電池が消耗している、もしくは電池が戸別受信機に入っていないことを表しています。）

防災行政無線の放送内容をメールとホームページから確認できます。

★メールの受取り登録の方法
下のメールアドレスに空メールを送信するか、右のQRコードを読取って登録できます。
bousai.imakane-town@raiden3.ktaiwork.jp

★ホームページでの確認方法
下のURLにアクセスするか、右のQRコードを読取って確認できます。
http://260bousai.jp/navi/imakane/

台風にそなえましょう（函館地方気象台）

台風は７月から９月にかけて多く発生し、北海道には年に２個程度接近します。地上付近では上空から見て反時計回りに強い風が吹き込むほか、活発な雨雲を伴うため広範囲に長時間にわたり大雨を降らせます。さらに台風から離れた場所でも、前線がある場合には暖かく湿った空気の影響で大雨になることがあります。大雨により低い土地の浸水や土砂災害、河川の増水・氾濫が起きるおそれがあります。

このようにさまざまな災害をもたらす台風から命を守るため、次のことにご留意ください。

◀渡島・檜山地方の大雨・台風情報

①窓や雨戸はカギをかけ、必要に応じて補強しましょう。風で飛ばされそうな物は固定したり、家の中に格納しましょう。
②ハザードマップでお住まいの地域で起こりやすい災害を把握するとともに、指定された避難所などへの避難経路を確認し、携帯電話が使用できない場合の連絡方法について家族で話し合っておきましょう。
③水や非常食、常備薬、懐中電灯、ラジオ、貴重品はすぐに持ち出せるようまとめておきましょう。
④テレビやラジオ、防災アプリ、気象庁のHPなどで最新の気象情報をチェックして台風にそなえましょう。